

シード株式会社

た な べ みずほ
田 辺 瑞 代表



トラックのリビルトエンジン

リビルトエンジンは、壊れたエンジンをオーバーホールしたものだ。シード株式会社は、トラックリビルトエンジンを扱う国内メーカー4社のうちの1社で、トラックに特化しているのが特徴だ。

当社では、トラックエンジンを部品1つ1つ分解し、洗浄。摩耗や傷などをチェックし、傷んだ部品はエンジンメーカー純正品に交換し、各社の整備要領書に従って再び組み立て、新品同様の性能に還元し、エンジンテストを経て出荷する。そのほぼすべての工程が手作業であり、1人の技術者が1基ずつ組み立てるため、大変な手間がかかる。それでも、会社設立から4年で、製造・販売実績720基を達成している。

リビルト品との出会い

エレクトロニクスメーカーで財務を担当していた田辺代表が、「リビルト品」と出会ったのは、中古自動車部品販売の会社にヘッドハンティングされたことがきっかけだ。ちょうどバブル経済崩壊後で、自動車修理の分野でも、リユース品のニーズが高まりつつあった頃である。営業を統括する役職につき、業界分析を深めるなかで、リビルトエンジンを知った。「少し手をかければ使えるものを、新品同様の性能に再生するリビルト品のニーズは必ずある。」と確信した。

しかし、よい商売だと事業者の参入も多い。それならば「より難しい分野を手がければ、メーカーとしてやっていける」と考えた。実際、トラックエンジンは大きく、部品数も多い。しかも、同じ車種でも馬力のちがいでエンジンも異なり、製品も多岐にわたる難しい分野だ。だが、「60歳を

過ぎて人生の最後に“やってよかった”と思うことをしたい」と思った。

品質第一と技術力向上へ

優秀な技術者や整備士たちと出会ったことが直接のきっかけとなり、当社設立が実現した。

それでも、当初はクレーム品が続いてしまった。この課題を解決するために、回収したクレーム品を全従業員で原因を明らかにした。そして、どのようなミスが起きやすいかについて、全員で情報を共有し、再発防止に努めた。その結果、クレームをほぼゼロにまで減少させることができた。

現在は順調に受注が伸びているが、出荷までに2週間待ちになることもあり、リードタイム短縮が課題となっている。そのためには人材確保が鍵となる。若年層では、定時制高校の生徒をアルバイトに採用するなどの取り組みを始めており、その中から卒業と同時に就職した社員も出ている。今後は、技術力のさらなる向上をめざし、若年者の育成とともに、自動車整備の専門知識を持った中途採用社員の確保が課題となる。

創業に際して、尼崎信用金庫が中心となって設立した「あましん創業・成長サポートファンド」の第1号となった。当社と田辺代表の活躍が期待される。

企業データ

代表者プロフィール：60代・男性・北海道出身

所在地：尼崎市田能 6-9-15

電話 06-4950-0025

<http://seed-r.co.jp/company/>

設立：2014年11月

事業内容：リビルト (rebuilt) エンジン製造販売

電話：06-4950-0888

ホームページ：<http://shinsensokuryo.jp>